

川崎ブロック（北部・南部）災害対策キャラバンのお知らせ

令和6年能登半島地震の発災から1年が経とうとしています。高齢化率が50%を超える地域もあり、要配慮者支援の必要性がさらに増えています。災害時の保健医療と福祉の連携が不十分だったことから、被災者への支援が遅れ、高齢者や障がい者、難病患者、子供や乳幼児、妊産婦などの要配慮者に対する支援が十分でないことが指摘されています。特に、介護が必要な高齢者や障がい者、難病患者への支援が遅れることで二次的な弊害が増大しています。避難所と福祉避難所との連携が不十分であることや、災害時の保健医療と福祉の連携に課題があることが原因の一つとして挙げられています。避難所や福祉避難所の整備状況や運営体制に不備が見られることも実情です。政府は保健医療と福祉の連携強化を喫緊の課題として捉え、保健医療福祉調整本部の設置などの対策を講じています。

神奈川県では、災害時の福祉支援として神奈川 DWAT（災害派遣福祉チーム）が設置され、本会も積極的に参加しています。今回のキャラバンでは、神奈川 DWAT（災害派遣福祉チーム）から2名の本会災害対策部部員が石川県輪島市に派遣された経験を踏まえた報告を中心に、支援活動の実際や課題について、川崎ブロックにおいて必要な災害支援ネットワークづくりについて検討していきたいと思っております。

【概要】

- 主催：公益社団法人神奈川県理学療法士会
- 運営：公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部
- 日時：2025年2月14日（金）19:00～20:30（受付開始 18:30～）
- 会場：オンライン
- 目的：実際の災害支援活動からリハビリテーション専門職として行う支援と課題について検討する
- 対象：公益社団法人神奈川県理学療法士会各会員およびリハビリ関連職種
- 定員：80名（先着順）
- 参加費：無料

「セミナーID：138033」※（公社）日本理学療法士協会会員の方「マイページ」より申し込みください。

- テーマ：「令和6年能登半島地震 実際の災害支援活動からみる川崎ブロックの災害対策と展望」

【講師】

前田 拓氏（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

西谷 真亜沙氏（介護老人保健施設 レストア川崎）

モデレーター・話題提供 下田 栄次（湘南医療大学）

【タイムスケジュール】

19:00 ～ ご挨拶（公社）神奈川県理学療法士会

19:05 ～ 19:35 講義①「神奈川 DWAT 災害支援活動報告①」

19:35 ～ 20:05 講義②「神奈川 DWAT 災害支援活動報告②」

20:05 ～ 20:25 全体を通じたディスカッションと自由討議

「今回の災害支援活動の経験から川崎ブロックではどのような準備をすべきか？」

「地域ではどのような支援が出来るか？」

閉会のご挨拶（公社）神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部

【参加申し込み】

下記の必要事項をご記入の上、本会会員の方は日本理学療法士協会マイページから、
会員外の方、他職種の方：問い合わせ先のメールアドレスに下記の必要事項をご記入の上、申し込みください。

① 氏名（ふりがな） ② 所属 ③ 職種

E-mail：eiji.shimoda@sums.ac.jp（問い合わせもこちらへお願いします）

<本研修会に関するお問合せ先>

神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部 下田栄次 E-mail：eiji.shimoda@sums.ac.jp